

認知症の人にインタビューしてみました

●認知症と診断された時の気持ち

ことばがぱっと出てこない、加えて、反すうしないと名前も出てこない時が多かった。逃げたい気持ちもあったが、私は、本を読んで自分の症状と合致するものがあったので受診した。認知症と診断されて、やっぱりと思った。私は診断を受けてよかったと思う。子どもは居るけど近くには住んでいないので迷惑をかけられないし、今後の身の振り方を考えなければと思った。

●友人や近所の人にしてもらって嬉しかったこと

伝えた人は数人だが、慰めてくれているのか、皆、私も同じよ、と言ってくれたのが嬉

しかった。

認知症という病気に限らず、他の病気を持っている人もいて、皆何かしらかかえて生活している。それを話して頼りきりになってお互い負担になるのも違うと思う。変わらない付き合いをしてくれることが嬉しい。

●今後、ご近所さんや友人にどんな対応をしてほしいか

近所に暗くなっても寒い日も外に立っている人がいる。皆家の中に入るまではしないけど、それとなく一緒におうち帰りましょうと声をかける。そんな対応がいいな。

(80代女性一人暮らし)



のこと

問い合わせは  
長寿支援課地域包括支援センター  
☎421-6738へ

対応の心得 3つの「ない」

- 1 驚かせない
- 2 急がせない
- 3 自尊心を傷つけない

一人ひとりが理解を深め  
地域で支え合うまちづくり

認知症の人やその家族が、慣れ親しんだまちで安心して暮らしていくためには、専門的な支援のほか、ご近所や自治会、民生委員、ボランティアなどの支えが重要です。

「帰り道がわからない」、「ごみ出しの仕方や曜日がわからない」など、認知症の人の困りごとは、地域の見守りや適切な援助があれば、穏やかに暮らしていくことが可能です。

認知症あんしんガイド「認知症ケアパス」

認知症ケアパスは、認知症の進行に応じて、本市にお住まいの人が「いつ」、「どこで」、「どのような支援が受けられるか」などケアの流れについて説明する冊子です。市内の地域包括支援センターなどで配布しています。

認知症 によるもの忘れ



- ・経験したこと全体を忘れていく
- ・目の前の人や物が誰なのか分からない
- ・置き忘れ・紛失が頻繁になる
- ・食べたことじたいを忘れていく
- ・約束したことじたいを忘れていく

日常生活に支障が出る

世界アルツハイマー月間の市での取り組み

本市でも、認知症に関する正しい理解と知識を普及・啓発するため、9月の世界アルツハイマー月間に合わせて、市役所、地域包括支援センターなどにおいて次のような取り組みを実施します。

市民向け認知症サポーター養成講座の開催

認知症状のある人の特徴や接し方、地域社会でのサポート方法などを学びます。認知症の人の介護を支える相談機関や制度の紹介もあります。受講された人には、オレンジバッジを差し上げます。

①勝田台会館

- ▶日時 9月23日(祝)午後2時～4時
- ▶市内在住の人対象、先着12人
- ▶申し込み 9月22日(水)までに電話で勝田台地域包括支援センター☎481-3515へ

②緑が丘公民館

- ▶日時 10月12日(火)午前10時～11時30分
- ▶市内在住の人対象、先着10人
- ▶申し込み 同館へ電話☎489-4919か直接同館窓口へ

③福祉センター第3・4会議室

- ▶日時 10月24日(日)午前10時～正午
- ▶市内在住の人対象、先着30人
- ▶申し込み 10月21日(木)までに電話で大和田地域包括支援センター☎421-6738へ

認知症高齢者を介護する家族交流会

公益社団法人認知症の人と家族の会より介護経験者を招き、経験談を聞きながら、認知症高齢者を介護する家族同士で情報交換をします。先着20人。

- ▶日時 10月14日(木)午後1時30分～3時
- ▶場所 市役所2階第1・2会議室
- ▶申し込み 10月8日(金)までに電話で八千代台地域包括支援センター☎481-7411へ

図書館に認知症特設コーナーを設置

下記の期間、市内の図書館に関連書籍を集めた認知症特設展示コーナーを設置します。

場所	時期
TRC八千代中央図書館	9～10月
大和田図書館	9月
八千代台図書館	9月
勝田台図書館	8～9月
緑が丘図書館	8～10月



▲緑が丘図書館の特設コーナー

9月21日(火)は地域包括支援センターと長寿支援課がオレンジ色に染まります

9月21日～24日は、地域包括支援センターと長寿支援課職員が、認知症支援の色であるオレンジ色のTシャツなどを身に着けて業務にあたり、認知症の普及啓発に努めます。



▲オレンジTシャツを着て執務する職員

広告